

取り組み事例

アステナHD株式会社のソーシャルインパクト事業のインパクトモデル設計支援



事例概要

- 企業：上場企持株式会社(ファインケミカル、HBC・食品、医薬、化学品、ソーシャルインパクト事業を展開)
- 提供サービス：インパクトコンセプト策定支援(社会価値創出の構造化・可視化)
- 成果物：社会価値創出の枠組み(インパクトコンセプト)、指標

課題・ニーズ

- ✓ 地域共創型プロジェクトを複数推進していたが、活動の社会価値が十分に整理・言語化されておらず、社内外での戦略的発信や対話に活用できていなかった
- ✓ ステークホルダーや投資家とのコミュニケーション指針が不明確だった

インパクトサークルの取り組み

- ✓ 課題と将来像の明確化：能登地域の複合課題を整理し、「地域内で価値を生み出し循環する新しい地域経済」の姿を定義
- ✓ 資源・活動の構造化：人的・知的・自然・財務資本と各事業活動を紐づけ、価値との関係性を可視化
- ✓ 成果(アウトカム)までの全体像設計：アウトプット(売上、地域調達率など)とアウトカム(雇用創出、交流拡大など)の接続を整理

成果

- ✓ 社内共有の促進：現場知見を言語化し、全社的な共通理解を形成
- ✓ 統合報告書を通じた社外対話の促進：投資家・ステークホルダーとの対話に活用できる枠組みを構築
- ✓ 巻き込み力の向上：可視化した価値構造を発信することで、共感を得た人材採用や関係者参画を促進

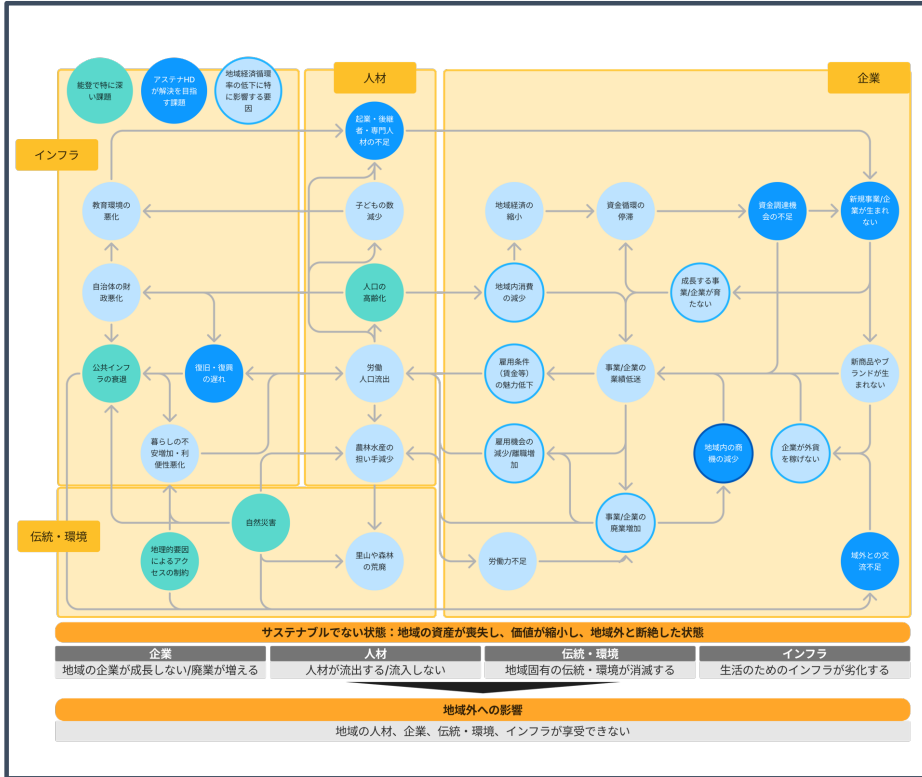
取り組み事例

アステナHD株式会社のソーシャルインパクト事業のインパクトモデル設計支援



成果物

ソーシャルインパクト事業がアプローチする課題の整理



ソーシャルインパクト事業のインパクトコンセプトの策定



今後、インパクトコンセプトと価値創造プロセスの統合、それに伴うマテリアリティの精査を想定

出典:アステナホールディングス株式会社「統合報告書2025 34頁」https://www.astena-hd.com/ir/ir_integrated_reports/2025.html